

DICプラスチック株式会社

<https://www.dic-plas.co.jp/>



〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル20階
TEL: 048-658-8855 FAX: 048-643-8891



本冊子は100%植物油型オフセットインキ「**ナチュラリス100**」と責任ある森林管理を目的としたFSC® 認証紙を使用しています。

社会と共に、未来を創る

プラスチックの可能性を信じて。

DICプラスチック株式会社

会社案内

Corporate Profile

プラスチックの 「価値」ってなんだろう

軽量性と耐久性に優れ、かたちや硬さを自由自在に変えることができる素材「プラスチック」。
その優れた特性はあらゆる分野で活用され、現代社会の発展に欠かせない素材として
人々の暮らしや産業にとって大きな「価値」をもたらしてきました。

一方、海洋プラスチック問題をはじめ、廃棄のしかたが国際的な課題として
注目されるなど、その在り方が問われているのも事実です。

私たちは、プラスチックの価値、そして抱えている課題に向き合い
プラスチックのあるべき姿を追求し続けてきました。

これからも私たちは、循環型社会の一員として
創業から培ってきた成形加工技術を基盤に
環境にやさしい素材の研究やリサイクル技術の向上に努め
チャレンジ精神を持って、次世代の製品開発に取り組んでいきます。

プラスチックの可能性を信じ、社会と共に、お客様と共に。



【 企業理念 】

私たちは
プラスチック成形加工を
基礎技術として
お客さまの立場にたって
新たな価値の創出に努めます

【 メッセージ 】

DICプラスチックは、創業以来半世紀以上にわたり
産業用ヘルメットをはじめとした安全資材、
密閉性に優れたプラペール缶などの容器資材、
農作業を支える園芸・農業資材、理化学・診断薬資材、
リサイクル材を原料とした環境に配慮した製品など
幅広いプラスチック製品を生み出してきました。

私たちの強みは、
アイデアから製品化までの一貫生産体制を活かし
お客さまの本当の困りごとや潜在ニーズを正確に捉えて
高品質な製品を迅速に提供することです。

お客さまの「ほしい」を叶えるプラスチック製品を通して
人々の生活や社会に必要とされる存在であるために。
DICプラスチックは挑戦を続けます。

持続可能な未来に向けて、 価値あるモノづくりを

DICプラスチックは、開発部を起点に、
容器資材、安全資材、理化学・診断薬資材の3つの分野を主軸として、
人々の安全・安心な暮らしを支える製品を生み出しています。

開発

DICグループが持つ素材に関する知見と
DICプラスチックが長年培ってきた技術力を掛け合わせ
次世代に向けて、人々の暮らしを豊かにする新たな製品開発に挑んでいます。

容器資材

密閉性に優れた産業用プラスチック缶や高機能コンテナなど、内容物を安全に運ぶ信頼性の高い製品を製造。さらに、園芸・農業資材や工事現場向けの仮設資材も取り扱っています。



安全資材

1955年の誕生以来、確かな品質を届けてきた「DICヘルメット」。最先端の素材知見と長年の開発力を活かし、安全性と快適性を兼ね備えたヘルメットを提供し続けています。



理化学・診断薬資材

各種体外診断用製品、理化学製品のデザインから設計、試作評価、量産納品までを一貫して対応。厳しい品質基準のもと、高品質・高精度な製品を医療・研究現場に届けています。



価値創出

開発

一歩先を行くアイデアをカタチに。次世代に向けた製品開発に挑み続ける

開発部では、顧客ヒアリング、市場調査・分析から始まり、
企画、デザイン、設計、検証・評価、製品化に至るまでのプロセスを迅速に行い、
お客様のニーズに応える製品開発に取り組んでいます。
私たちが目指すのは、ニーズの一歩先にある課題を解決するような、
価値ある製品を世に送り出すこと。
人々の要望、そして社会課題に真摯に向き合い、
安全・安心・信頼のモノづくりを追求し続けています。

DICプラスチックの開発力

POINT 1 各分野のプロフェッショナルが集結

開発部には容器資材、安全資材、理化学・診断薬資材の3つの分野で活躍する専門家が集結。プロダクトデザインや設計、CAE解析^{※1}、コンパウンド技術^{※2}など、各分野で培われた知見と経験を活かし、ユーザビリティと機能性を兼ね備えた製品開発を行っています。

POINT 2 プロトタイプを用いた迅速な開発フロー

試作段階では3Dプリンタを活用してプロトタイプを製作。アイデアを素早く形にします。また、コンパウンド技術による材料開発も行い、検証と改良を繰り返しながら、お客様の課題解決に最適な製品提案につなげています。

POINT 3 アイデアを加速させるデザイン思考型開発

デザイン思考を基盤とした部内ワーキンググループを定期的を実施。未来のニーズに応える新製品・新規事業の創出に挑み続けています。



※1 Computer Aided Engineering (コンピュータ支援エンジニアリング)
※2 原料樹脂に顔料や添加剤などを混練して新たな機能や付加価値を与える技術

容器資材

大切な中身をしっかり守る。安心と信頼を確実に届ける

目的に合った容器を探したい

内容物を無駄なく使いたい

危険物を安全に運びたいなど

お客さまの多様なニーズに応える製品を開発・提供しています。

PICK UP PRODUCTS

1

安全性と機能性を 追求した密閉容器

フルオープン式で広口形状の「DSP®シリーズ」をはじめ、市場の需要を捉えて生まれたUN規格対応の「DPUN®シリーズ」など、安全性・機能性を追求した密閉容器を多数展開しています。

DPUN®シリーズ
液体用・固体用
(UN規格対応)
同形式の液体用は
国内初のUN規格対応容器



PICK UP PRODUCTS

2

作物の育成に貢献する 園芸用品

「NPポットシリーズ」は、25Lから100Lの大型サイズまで豊富なバリエーションを取り揃え、さまざまな果樹や野菜の苗木育成・収穫に貢献します。優れた排水性と通気性を備え、根の成長を促進し、健やかな育成環境を提供します。

NPポットシリーズ
リサイクル材を活用した
地球にもやさしいポット



PICK UP PRODUCTS

3

リサイクル材から 生まれた仮設資材

フィルム由来のリサイクル材を使用した小型案内看板「カンバリ®」。プラスチック資源の循環型社会の実現を目指し、こうした環境に配慮した製品の開発にも積極的に取り組んでいます。

カンバリ®
建設現場、駐車場、
店舗やイベント会場で活躍



開発の
ポイント
1

充実の試験設備で確かな“品質”を
各種自社試験設備による実践的な機能・安全評価、これまでの知見に基づいた徹底した品質評価で、お客さまに安全で高品質な製品を提供いたします。

開発の
ポイント
2

国際規格を取得 (UN規格)
UN規格とは、国連 (UN) 勧告に基づく、危険物を海上輸送する際に必要な容器規格です。日本では、(財)日本舶用品検定協会の認証検査を受け合格した製品にのみUNマークの使用が認められています。当社のUN容器は、液体用・固体用ともに容器等級Ⅱの認証を取得しています。

安全資材

より強く、より軽く、より快適に。ユーザーに寄り添い続けるDICヘルメット



ユーザーが安全に安心して使用できる「丈夫さ」や「品質」はもちろんのこと

「軽さ」や「涼しさ」、「収納のしやすさ」など

多様な機能を兼ね備えたヘルメットを取り揃えています。

PICK UP PRODUCTS 1

働く人の負担を 「軽さ」でサポート

超軽量ヘルメット「軽神®シリーズ」。従来別々の部品であったシェル（帽体）とライナー（衝撃吸収体）を一体成形する「インモールド工法」で、圧倒的な軽さと強さの両立を実現しました。

軽神®AA23

ユーザーの声を受けて生まれた
クリアバイザーと
シールド搭載の
ラインナップ

軽神
KEIJIN



PICK UP PRODUCTS 2

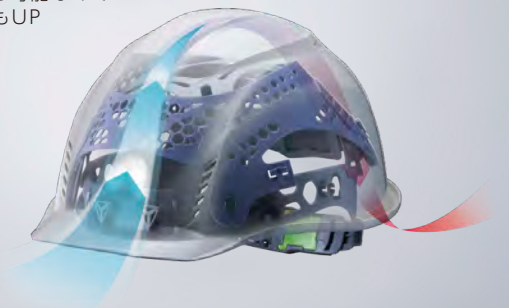
マイナス8℃の 圧倒的な「涼しさ」

現場で活躍する人々に涼しさを届ける「エアロメッシュ®」。発泡スチロール製の衝撃吸収ライナーに代わり、樹脂製メッシュ構造を採用することで、安全性はそのままに、通気性を大幅に向上させました。

エアロメッシュ®

AEROMESH

暑さ対策に最適だけでなく
丸洗いも可能なので
清潔感もUP



PICK UP PRODUCTS 3

「イザ」に備える、 折りたたみヘルメット

「IZANO®2」は、携帯性・収納性に優れた折りたたみ式ヘルメットです。折りたたみ時の高さは63mmとコンパクトながら、2つの保護帽規格*を取得しており、プロの現場や災害の復興作業にもそのまま使用可能な保護性能を有しています。

* 厚生労働省 保護帽の規格「飛来・落下物用」・「墜落時保護用」

IZANO®2

IZANO.2

幅広いサイズ調整が可能で
子どもから大人まで
利用可能



開発の ポイント 1

安全・安心を支える独自の評価基準

国家検定や認定基準に基づいた各種ヘルメット規格をクリアするだけでなく、当社独自の品質評価基準を定めた検査を行い、機能性と安全性を徹底的に追求することで、より安定した性能と品質を提供できるよう努めています。

開発の ポイント 2

一貫生産体制から生まれる信頼性の高い製品

デザイン、素材選定、構造設計、試作、試験、解析までを繰り返すことで、優れたデザインと機能性を持つ製品を社会に送り出してきたDICヘルメット。市場が必要とする製品を必要な時に迅速にお届けすることを使命に、これからも人々に安全・安心を提供します。

理化学・診断薬資材

徹底した品質管理で、医療・研究現場に揺るぎない信頼を届ける



インフルエンザや新型コロナウイルスなどの
イムノクロマト法を利用した抗原検査キットや
PCR検査などで利用されるマイクロプレートなど
医療・研究現場で求められる高精度な製品を数多く提供しています。

PICK UP PRODUCTS

長年のノウハウを結集したオリジナル製品

当社オリジナルの提案型製品は、お客様の「あったら嬉しい」の声と、長年積み重ねてきた開発知識とアイデアから生まれました。現場での使い勝手の良さや実用性を追求した、これらの製品群をすぐにご使用・ご評価いただけます。

Squeezless®

検体抽出補助のインナーパーツが内蔵
容器本体をスクイズすることなく検体抽出が可能



汎用充填チューブ

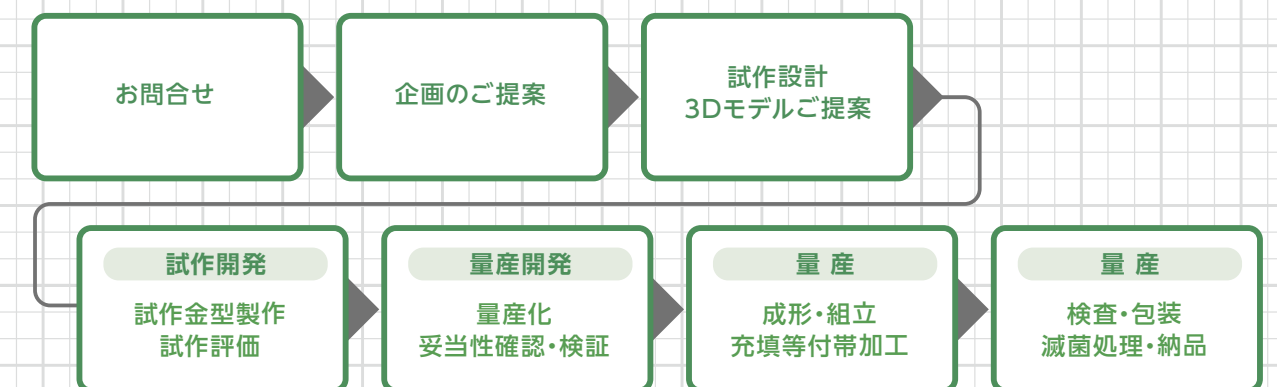
現場での使いやすさを追求して生まれたチューブ
検体抽出をより効率的に行えるよう柔軟な素材を採用



OEM/ODM生産ライン

お客様の思いに応えるOEM/ODM

長年にわたり、体外診断用医薬品分野のOEM/ODMに携わってきた当社。企画から設計、試作提案、成形・組立・充填等付帯加工、検査・包装・滅菌処理(外部)までの工程の一貫対応が可能です。培ってきた知識とノウハウを最大限に活かし、お客様のニーズに応える迅速な製品提案を行っています。



開発の
ポイント
1

ユーザビリティを徹底追求し、+αの提案を

加工や量産のしやすさだけでなく、持ちやすさや感触、蓋の開けやすさといった細かなユーザビリティを考慮したデザインをご提案します。3Dプリンタ試作品を用いた最終形状の確認や、CAE※を活用したあらゆる分析・検証を行い、ユーザーから選ばれる高品質な製品開発に取り組んでいます。

開発の
ポイント
2

万全の品質管理で、ハイクオリティを届ける

厳しい品質管理のもと、塵埃や浮遊菌を排除したクリーンルーム内において加工と組立を行っています。各種規格への適合はもちろんのこと、独自の品質評価基準を設け、安全・安心にお使いいただけるハイクオリティな製品を提供できるよう努めています。

※ Computer Aided Engineering (コンピュータ支援エンジニアリング)



「はじまり」から「おわり」まで デザインレビュー*を通じて、 ワンストップの生産体制を実現

※ 製品開発から量産開始までの各段階において、設計や仕様が適切かどうかを確認するプロセス

あらゆる角度から
デザインを検証



性能とコストを
徹底追求



成形▶加工▶組立まで、
一貫した製造体制

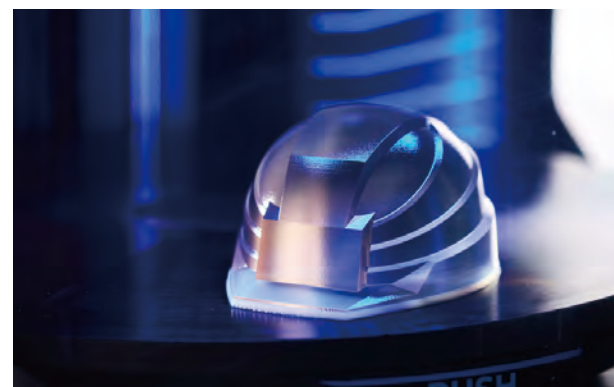


安全で安心、
安定した品質を確実に

企画／デザイン

お客さまが抱える課題をヒアリングで的確に把握し、新素材の開発も含め製品の特性を踏まえた最適な素材を選定します。機能、意匠、生産性などを考慮した上でデザインを行い、アイデアスケッチや3次元CGでわかりやすくビジュアル化します。さらに3Dプリンタを活用したモックアップ*を迅速に製作し、使い勝手の確認、不具合の抽出など、あらゆる角度からデザイン検証を行います。

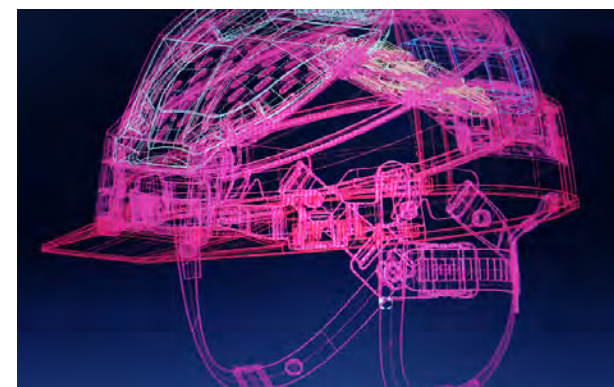
※ 製品の外觀や機能を確認するために作られる模型



設計／解析／検証

検証されたデザインをもとに、3次元CAD*1を使用し、お客さまが求める品質と適切なコストを両立する製品設計を行います。CAE*2シミュレーションによる構造解析、樹脂流動解析などにより製品形状を最適化。また、ハイスピードカメラを活用した衝撃吸収メカニズムの解析など、お客さまの信頼にお応えるために、さまざまな検証を行います。設計審査を経た金型仕様の決定や試作評価、製品の妥当性の確認・検証、初期流動管理など、量産に向けて準備を行います。量産時の安定した品質や機能を維持するため、さまざまな評価設備を駆使し、お客さまにご満足いただける製品の提供に向けて、不断の研究と改善に努めています。

※1 Computer Aided Design (コンピュータ支援設計)
※2 Computer Aided Engineering (コンピュータ支援エンジニアリング)



成形／組立加工

【館林工場】
主な生産拠点として、プラパール缶などの大型製品からミクロンオーダーの超精密製品まで、さまざまな仕様に対応できる成形機を取り揃えています。体外診断薬資材など高いレベルの衛生管理が求められる製品は、厳しい環境条件を課したクリーンルーム内において、加工、組立の工程を完結し、常に確かな品質を保っています。

【埼玉工場】
産業用、防災用、自転車用など、各種ヘルメットの帽体や内装部品などの関連部材の成形、製品用途に応じた加飾などの加工、組立を一貫して行います。さまざまな規格に準じた安全な製品を生産し、お客さまの幅広いニーズに対応しています。



品質保証／環境安全

製品に対応した各種規格への適合はもちろん、独自の社内品質評価基準を設けることで、常に安全で安心、安定した品質を確実に提供できる体制を整えています。また、品質や環境に関する各種ISO認証規格、QMS省令適合施設認定などを取得し、顧客満足の向上や環境負荷の低減・改善に取り組んでいます。

取得規格一覧 (2025年1月1日現在)

【館林工場】

品質マネジメントシステム ISO9001:2015 2023年12月更新
医療機器品質マネジメントシステム ISO13485:2016 2023年12月更新
環境マネジメントシステム ISO14001:2015 2023年7月更新 (DIC館林工場と共同認証)
体外診断用医薬品製造施設認定工場 (QMS省令適合施設) 2022年7月更新



ISO 9001 審査登録
DICプラスチック株式会社



ISO 13485 審査登録
DICプラスチック株式会社



ISO 14001 審査登録
DIC株式会社館林工場
DICプラスチック株式会社共同認証
JCQA-E-0394

【埼玉工場】

品質マネジメントシステム ISO9001:2017 2023年12月更新
産業用ヘルメット (厚生労働省告示第120号「保護帽の規格」) 及び第33号「絶縁用保護具等の規格」)
自転車用ヘルメット (自転車用ヘルメットの認定SG基準 CP5A0056)



ISO 9001 審査登録
DICプラスチック株式会社 埼玉工場
JCQA-1801



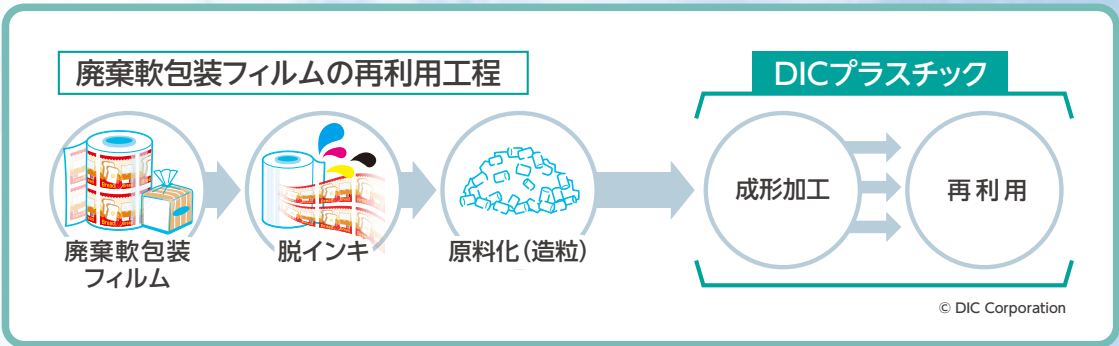
製品安全協会
SGマーク認定工場
2013.6.10自転車用

プラスチックと共に、しなやかに紡ぐ未来

当社は、世界的な課題である海洋プラスチックなどの廃プラスチック問題に対し、マテリアルリサイクル※を推進し、サプライチェーン排出量の削減に取り組んでいます。

ご協力いただける企業様と共に製品の回収・再資源化を図り、限りある資源を有効に活用する循環型社会の実現に貢献するため、素材研究や技術開発・改良を進めています。

※ 使用後の製品を同じ製品の材料や原料として再利用する、または元の製品類から別の分類の材料や原料へ生成し直し再利用すること



プラスチックリサイクルの例

これまでの軟包装フィルムは、フィルムに印刷されたインクを除去しきれず、不純物や汚れが残ってしまうことから、完全なマテリアルリサイクルができませんでした。そのため廃棄フィルムの再資源化の用途が限られていましたが、DIC独自の脱インキ技術と当社独自の成形加工・再利用工程における技術を組み合わせることで、再生ペレットの着色と物性劣化の課題を解決し、バージン原料と同様に着色することが可能になりました。

新たなリサイクル技術によって再生した材料を使用した製品を多数開発しています。

DICグループのサステナビリティ活動

DICグループはサステナビリティ活動を「事業活動を通じて社会の持続的な発展と地球環境の維持・向上に貢献し、同時にDICグループも持続的に成長するための活動」と定義しています。下記の「サステナビリティ基本方針」に基づき、環境・社会・ガバナンス(ESG)に関する社会の要請を的確に把握しながら一つひとつの活動に取り組んでいます。2018年度よりDICではESG部門を設置し、DICグループのサステナビリティ活動をグローバル

に展開しています。また、DICでは2024年より法定開示である有価証券報告書でのサステナビリティ情報開示を始めました。さらに、欧州地域での非財務情報開示指令(CSRD)をはじめとする、海外の情報開示義務に向け、各サイトと協力して取り組みます。DIC Vision2030においてもサステナビリティ戦略を掲げ、なお一層グループ全体でのサステナビリティを推進します。

サステナビリティ基本方針 (2024年12月改定)

DICグループは、常に国際的な法規制に基づき

- 1)従業員と地域の安全
- 2)リスクマネジメント
- 3)公正な事業慣行・人権と多様性の尊重
- 4)環境との調和・環境保全
- 5)イノベーションによる社会的価値の創出と持続可能な成長の実現

を強く意識した事業活動を推進します。

社員一人ひとりは、自主性と責任感を持って自らの業務に取り組み、ステークホルダー（顧客、取引先、地域社会、株主・投資家、社員など）から期待される価値の提供に努めます。DICグループは、社会の持続的な発展と環境との調和・環境保全に貢献する企業であり続けるために、事業活動を通じてたゆまず成長し、自身のサステナビリティを高めていきます。

主な営業所・主要関係会社 (2025年1月1日現在)

本社	〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル20階 TEL:048-658-8855 FAX:048-643-8891
札幌営業所	〒061-1112 北海道北広島市共栄54-15 TEL:011-370-2611 FAX:011-370-2612
大阪営業所	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島7-4-17 新大阪上野東洋ビル6階 TEL:06-6307-2314 FAX:06-6307-2318
館林工場	〒374-0001 群馬県館林市大島町東部工業団地6023 TEL:0276-77-2251 FAX:0276-77-2250
埼玉工場	〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室志久4429-14 TEL:048-723-0611 FAX:048-723-0403
DIC株式会社	〒103-8233 東京都中央区日本橋3-7-20 ディーアイシービル TEL:03-6733-3000 【事業内容】印刷インキ、有機顔料、合成樹脂等の製造・販売
ワイディー プラスチックス 株式会社	〒061-1112 北海道北広島市共栄54-15 TEL:011-373-2331 FAX:011-373-2771 【事業内容】ペットボトル容器の製造・販売

本社



館林工場



埼玉工場



1949 東京都新橋で個人事業主として創業
化粧品容器およびコンプレッションによる
びん用キャップなどを製造

1951 東京都大森で
旭プラスチック工業株式会社 設立

1955 ヘルメット生産開始

1957 大日本インキ製造株式会社
(現：DIC 株式会社) の系列下に入る

1959 日栄化学工業株式会社に社名変更

1963 ヘルメット部門を独立させた
日栄プラスチック株式会社 設立

1964 FRP 樹脂製産業用ヘルメットが
国内トップシェアとなる

1965 家庭用密封容器
「ディッキー」生産開始

1967 ドイツのフレイヤ社より技術導入し、「ビール
びん用プラスチック通い箱」生産開始

1975 日栄プラ販株式会社 設立

1984 日栄プラスチック株式会社が
産業用ヘルメット・乗車用ヘルメット設備を
埼玉県伊奈町へ集約 (現：埼玉工場)

ディスポーザブルメンブレンフィルター
生産開始

1985 デンマークのスーパーフォス社より技術導
入し、密閉容器「DSP®シリーズ」生産開始

レーシングカーデザイナー由良拓也氏デザ
インのライダー用ヘルメット
「ムーンクラフト TY-1」生産開始

1986 東洋濾紙株式会社と合併で
テクノサイエンス株式会社 設立

1988 再生原料を活用した「NPポットシリーズ」
生産開始 園芸・農業分野へ参入



ニチエイ



1991 ABS 樹脂製ヘルメット「SYA®」生産開始
全国的大ヒットロングセラー商品となる

ディックモーディング株式会社 設立
(現在の当社)

1992 日栄化学工業株式会社よりディックモー
ディング株式会社へ事業譲渡

1998 人工肺事業開始
膜型人工肺「メノックス」生産開始

2000 ディックプラスチック株式会社へ社名変更

2002 日栄プラ販株式会社を吸収合併

札幌工場を株式会社吉野工業所との合併で
ワイディープラスチック株式会社として
分社

インフルエンザ診断容器 生産開始

2006 ダイテナー社よりダイテナー事業を承継し
「ダイテナーシリーズ」生産開始

人工肺事業を譲渡

2008 DICプラスチック株式会社へ社名変更

日栄プラスチック株式会社が
DICモーディング株式会社へ社名変更

2013 防災用ヘルメット「IZANO®」
防災用キャップ「IZANO® CAP」生産開始

2014 「IZANO®」グッドデザイン賞受賞
「IZANO® CAP」キッズデザイン賞受賞

2016 DICプラスチック株式会社が
DICモーディング株式会社を吸収合併
当社埼玉工場となる

2023 テクノサイエンス株式会社の合併解消
経営を東洋濾紙株式会社に委ね、フィルター
生産を当社が担う新たな協力関係を構築



価値創出の軌跡

	容器資材	安全資材	理化学・診断薬資材
1960s	「ビールびん用プラスチック通い箱」		
1970s		乗車用ヘルメット 「DY-1」	
1980s	密閉容器 「DSP®」 園芸用品 「NPポット」 	乗車用ヘルメット 「ムーンクラフト TY-1」 乗車用ヘルメット 「INCSTATE」 	ディスポーザブル メンブレンフィルター 
1990s		産業用ヘルメット 「SYA®」 産業用ヘルメット 「SP-25」 	膜型人工肺 「メノックス」 
2000s	危険物運搬容器 「DPUN®」 プラベール缶 「ダイテナー」 	産業用ヘルメット 「A01」 	インフルエンザ診断容器
2010s		産業用ヘルメット 「AA11」 「AP11」 幼児自転車用ヘルメット 「solano®」 防災用ヘルメット 「IZANO®」 「IZANO®CAP」 産業用ヘルメット 「涼神®-AA16」 「軽神®-AA17」 「エアロメッシュ®」 	
2020s	軟包装フィルムを活用した 環境に配慮した製品 	産業用ヘルメット 「軽神®-AA23」 	スクイズレス抽出容器 「Squeezless®」 



DICプラスチック株式会社

商 号 DICプラスチック株式会社
DIC PLASTICS Inc.
所 在 地 〒330-8669
埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5
ソニックシティビル 20 階

電 話 番 号 048-658-8855
F A X 番 号 048-643-8891
設 立 1991 年 11 月 1 日
資 本 金 1 億円
従 業 員 数 284 名 (2025 年 1 月 1 日時点)
ホームページ <https://www.dic-plas.co.jp/>